

第6回愛宕杯ゲートボール大会

愛宕杯ゲートボール会主催の第6回愛宕杯ゲートボール大会が、4月16日岩間運動広場で開催され、笠間市・水戸市・小美玉市などから30チーム約180人が参加しました。

満開の桜の中で開催されたこの大会を制したのは地元笠間市の笠間さくら。結果は、次のとおりです。

順位表

優勝：笠間さくら（笠間市）

準優勝：美野里（小美玉市）

第三位：石崎（茨城町）

敢闘賞：水戸健友会（水戸市）



愛宕山と満開の桜のもとハイレベルな試合が行われました

災害救護体制強化のために ～赤十字救急車両が配備～

3月29日、赤十字救急車両が笠間市に配備されました。

日本赤十字社茨城県支部では、救護体制の強化を目的に、昭和46年から毎年、県内の市役所、町村役場などに赤十字救急車両をこれまでに619台配備しました。現在でも200台が現役で稼働し、この度の震災においても被災者救援のため、物資の搬送や情報収集に活躍しました。

災害時の救援物資の配布やボランティア活動などはもちろんのこと、その他福祉活動などにも活用され活躍が期待されます。



今年で40周年を迎えた赤十字救急車両の配備事業

クラフトフェアinかさま

4月8日から10日まで、きらら館広場で「クラフトフェアinかさま」が開催されました。

震災前から予定されていたイベントで、「笠間を元気にしたい」という出展者たちの強い思いから予定どおり開催されました。

北は岩手県、西は山口県など全国から陶芸や木工等の手工芸品の作家、県内から各地の自慢の食材を生かした飲食店が集まり、質の高い作品を展示・販売しました。

来場した方々は、出展者とのやりとりや、ボサノバ歌手の山口由美さんのステージなどに笑顔を見せていました。



43店舗が出展し多くの人出で賑わいました

人権擁護委員へ 法務大臣から感謝状

退職された人権擁護委員に対する法務大臣感謝状の贈呈が、4月11日笠間市役所で行われ、深谷忠さん（八雲）へ感謝状が手渡されました。

深谷さんは平成7年12月15日から平成23年3月31日まで15年3か月余りの長きにわたり人権擁護委員を務められました。

人権擁護委員は法務大臣が委嘱した民間の方々で、地域の中で人権思想を広め、住民の皆さんの人権が侵害されないように配慮し、人権を擁護していくことを目的として活動しています。



左から山口市長、深谷さん、水戸地方法務局人権擁護課須藤課長

11回目の入村式 笠間クライナガルテン

笠間クライナガルテンの入村式が4月16日に行われ、新たに10組の家族がガルテナーの仲間入りをしました。

新たな利用者の方に話をうかがうと、「自分の手で一から野菜を作りたい」と、その意欲を語ってくれました。

この日は、引き続き利用するガルデナーや地域住民、関係者など、約100名が参加し立食をしながら交流を深めました。



会話が弾み交流も深まりました



ご厚志ありがとうございます

3月29日、結城信用金庫様からエコクリーン定期預金の総額の0.01%（総額100万円）を笠間市などの10市2町に寄附いただきました。環境保全事業のために大切にに使わせていただきます。

また、4月4日、常陽銀行友部支店様から、防犯ブザー710個を寄贈いただきました。4月7日に行われた小学校の入学式で、1年生児童に配布しました。

ご厚志、誠にありがとうございます。

東日本大震災復興支援イベント開催 がんばろう笠間！

3月27日、JR友部駅南口広場で茨城中央農業協同組合（川上好孝組合長）主催の復興支援イベントが市と連携のもと開催されました。

がんばろう笠間を合言葉に、笠間産の米や野菜を格安で販売したほか、同イベントに協賛した笠間焼協同組合が「笠間火器」で炊いたご飯のチャリティーカレーを販売するなど、イベントに協力しました。

売り上げの一部が市に寄附されたほか、募金箱に集められた善意は義援金として東北地方へ送られました。



会場の募金箱には子どもからお年寄りまでたくさんの善意が寄せられました

662名が小学校に入学

4月7日、市内14の小学校で一斉に入学式が行われ、新1年生662人の学校生活がスタートしました。

このうち、大原小学校（栗原範子校長）に入学した児童は26人。震災から1か月足らずで迎えた入学式でしたが、花で彩られた会場で、担任の先生に名前を呼ばれると一人ひとり大きな声で「はい」と返事をしました。また、上級生から歓迎の言葉や歌が贈られるなど、あたたかくて心のこもった入学式でした。



上級生に手をひかれ入場する新入生